



「やわらかな定住」を核とした関係人口創出・二地域居住推進事業

申請者	鹿児島県錦江町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	872,423千円 (297,350千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野(大項目)	地場産業支援関連事業分野
目的・効果	<p>全国の連携自治体が広域に連携することで、未就学児から小学生までの子育て家族に対して地域を越えた柔らかな定住(二地域居住の子育て暮らし)の機会と新たな人の流れを創出し、定住人口のみに依存しない地域経済モデルを確立する。都市部の子育て家族が、多様な地域環境での滞在を通じて「複眼的な視点」や「第二の故郷としての愛着」を深め、継続的な関係人口・ふるさと住民となることで、人口減少下においても地域での幼少期からの関係人口づくりが将来にわたって維持される持続可能な地域社会を実現する。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR8年度事業費</small>	<p>【事業概要】 全国の連携自治体と共に「定住人口のみに依存しない新たな地域運営モデル「やわらかな定住(二地域居住)」を社会実装する</p>					<p>①二地域居住の魅力化 子育て暮らし体験と地域資源の価値創出</p> <p>移住をやわらかにこどもの年齢に合わせて1-3週間からの二地域居住 保育園留学&小学生留学</p> 	
	<p>ソフト事業経費:</p> <p>区分1 二地域居住の魅力化:子育て暮らし体験と地域資源の価値創出</p> <p>①子育て家族への二地域居住モデルの実証・展開 146,960千円 ②地域の食文化を核としたツーリズムおよび商品開発 9,000千円</p> <p>区分2 やわらかな定住の構築:暮らし環境・デジタル・組織</p> <p>③二地域居住拠点の整備と機能設計 52,510千円 ④循環型関係人口DXシステムの構築(デジタル) 9,860千円 ⑤受入推進体制の構築と人材育成(ソフト・組織) 26,970千円</p> <p>区分3 子育て二地域居住の機運作り:情報発信と広域連携</p> <p>⑥戦略的プロモーションと情報発信 48,750千円 ⑦やわらかな定住のブランド共同発信 3,300千円</p>					<p>②やわらかな定住の構築 暮らし環境・デジタル・組織</p> <p>住まいをやわらかに持ち家購入ではなく まずは二地域居住体験の住まいから</p> 	
主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①二地域居住の関係人口の創出数 (+ 2,133人) ②地域滞在総量の拡大 (+ 17,644泊) ③本事業による地域経済波及効果 (+ 320,960千円)</p>					URL <small>※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</small>	https://hoikuen-ryugaku.com/yawarakana-teiju (作成中)

※北海道小清水町、北海道月形町、北海道鹿追町、北海道中富良野町、岩手県西和賀町、東京都青梅市、京都府和束町、京都府笠置町、兵庫県宍粟市、広島県庄原市、大分県臼杵市、長崎県東彼杵町、熊本県天草市、熊本県芦北町、宮崎県日向市、鹿児島県志布志市、鹿児島県与論町の広域連携事業